

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09000060

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	B	
単位施策	3 生産技術の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	畜産指導者育成事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	北オホーツク農業協同組合	関係課	#N/A	
事業指標	畜産指導者会議の開催		#N/A	
事業目標	年6回以上	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	地域農業の生産技術の向上及び経営の安定化等を図るため、関係機関(農協・普及センター・NOSAI等)が連携し、現状分析や問題点・課題点の検証を行い、地域農業者への指導力向上を図る。	畜産指導者会議の開催	畜産指導者会議の開催	畜産指導者会議の開催	畜産指導者会議の開催	畜産指導者会議の開催
	事業費(千円)	0	0	0	0	0
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実績事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
関連事項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	畜産指導者会議の開催 5回	畜産指導者会議の開催 4回	畜産指導者会議の開催 2回	畜産指導者会議の開催 4回	畜産指導者会議の開催 3回
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 C-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	6回以上	6回以上	6回以上	6回以上
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	備考欄					

事業名	畜産指導者育成事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	小野 隆行

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農業関係機関担当者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	畜産指導者会議の開催		
【抱える課題やニーズは】	異動等により、関係者間の連携や地域の課題に対する共通認識が図られていない。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	関係者が参集し、情報の共有化を図る。		① 畜産指導者会議の開催数	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	担当者の知識向上及び関係者間の連携を密にし、農業経営者に対し適切な助言、指導を行う。			目標値	6回
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	畜産指導者会議の開催	農業経営者に対する助言、指導が行えるよう、関係機関の担当者が参集し、意見交換をとって本町の農業に対する知識向上を図った。	実績値	3回	
			達成度	50.0%	
			②	目標年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	担当者の知識向上を図り、農業経営者に対し適格な指導、助言を行うため必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	前年度より開催数は少ないが、関係機関の担当者間において地域の現状、課題に対する認識を共有することができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	指導者会議として全ての担当者の参集は3回に留まるも、協議案件によっては、一部の担当者のみを参集し情報・意見交換を行っている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	担当者の質の向上は、本町の農業行政の推進に寄与するものであり、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
関係機関の担当者間において、地域の現状、課題に対する認識の共有や知識の向上が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も会議内容の充実を目指しながら、担当者間の意見交換を通じた知識の向上と情報の共有を図っていく必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止